

令和6年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府民の森ちはや園地及び大阪府立金剛登山道駐車場	指定管理者:ちはや園地等管理共同事業体	指定期間:令和5年4月1日～令和10年3月31日	所管課:環境農林水産部みどり推進室みどり企画課
--------------------------------	---------------------	--------------------------	-------------------------

I 提案の 履行状況に 関する項目	評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
				S～C		S～C	
	(1) 施設の設置目的 及び管理運営方針	施設の設置目的に沿った管理 運営ができたか。 ①自然風景地の保全 ②豊かな自然や園地の特性を 活用した取組の展開 ③金剛山系周辺の関係施設と の連携	【物価変動についての考え方、指定管理を行う上での影響】 ・人件費、園地での修繕に係る資材費、販売品に係る仕入費、園地管理用車両の燃料費等の価 格が上昇している。また、香楠荘撤去工事に伴う工事車両の通行増、キャンプ場施設の一部 使用停止等、当初提案時には無かった施設の使用制限などにより、利用者数が減少してい る。 ・現状は、当初申請時の5年間見通しと異なる状況にあり、今後の収支計画の見直しが必要と 思われる。 【実績】 ①ちはや園地の自然環境に沿った植生管理（伐採、草刈り時の希少種（ラン科植物やヤマユリ 等）の保全等）を行った。 ② ・大阪で一番星に近い天文台で天体観測を展開した。また、天気の良い日の日中に太陽観察を 無料開催した。 星空観察7回73名、太陽観察23回757名（11月末現在） ・定例的（毎月第一、第三日曜日）にガイドウォークを開催し、園地の自然・魅力を来園者に 伝える取組みを行った。 10回46名（11月末現在） ・野鳥観察会を毎月第四日曜日に定例会として、また、入門講座を春秋の2回開催し、園地に 飛来する野鳥の観察を通じて自然との付き合い方を伝える取組みを行った。 7回99名（11月末現在） ③金剛山頂施設連絡協議会、千早赤阪村金剛山系対策協議会、千早赤阪村観光協会に参画。葛 木神社、転法輪寺、金剛練成会と連携し、登山道の補修や清掃活動、イベントでの協力等金 剛山、ちはや園地のPRを行った。 【自己評価】 ・自然を適切に保全し、関係機関と連携しながら園地の運営が行えた。 ・イベントの実施を通じて金剛山、ちはや園地の魅力を発信するという目標は概ね計画通り実 施した。	A	履行確認の結果、事業計画どおり施設 の設置目的に沿った管理運営が実施さ れており、評価できる。	A	
	(2) 平等な利用を図 るための具体的手 法・効果	平等利用に努めたか。 ①誰もが安心して利用できる 施設の運営 ②予約手続きにおける平等性 の確保 ③高齢者、障がい者等への配 慮	【実績】 ①ちはや園地の毎日開園（令和5年4月1日から。年末年始を除く） ②イベント予約にHP、スマートフォンアプリ、電話など多様な申込手段をとっている。イベント は多くの回数実施しており、希望者は参加できている状況。 ③要望があれば、工作ルームの大型モニターを使つての解説や視覚障がい者対象の星空ガイドな どを開催するコンテンツを用意している。（11月末現在　利用希望無） 【自己評価】 ・天候悪化等のリスクのある金剛山頂域で、安心して利用できる施設として毎日開園し、利用者 の案内・対応を行っている。 ・高齢者、障がい者を含め誰もが園地を楽しんでいただけるよう運営に努めている。	A	履行確認の結果、事業計画書に示した 取組みが実施されており、評価できる。	A	
	(3) 安全・安心に利用 できるための管理の 具体的方策	施設の安全管理について、ト ラブルの未然防止や、発生した 際の処理方針、今後の管理への 反映がなされたか。 ①危機管理体制の構築 ②自然災害や事故などの緊急 時の対応状況 ③事件・事故等危機事象の備 え ④災害時の適切な対応と迅速 な応急処置	【実績】 ①日常業務、異常時の対応等について園地職員が的確に対応できるよう、府民の森園地管理必携 を作成・共有している。 ②府道や登山道の積雪状況や大雨による被災状況などの情報をSNSやHPを通じて情報提供を行 った。ケガや急病等で救助を求められたときに、救急要請を速やかに行うよう誘導した。 ③防災訓練を1月に実施予定。 ④大雨による自然災害発生の危険がある場合には、臨時休園措置をとり、園内の安全確認を行っ た後、開園する体制をとっている。 【自己評価】 ・日常点検等を行い、トラブルの未然防止に努めており、概ね計画通り実施した。	A	履行確認の結果、事業計画書に示した 取組みが実施されており、評価できる。	A	「Ⅱさらなるサー ビスの向上に関する 事項（2）その他創意 工夫」に記載されてい る携帯電話基地局に ついて、利用者の安全 対策の観点から携帯 電話の電波は必要で あり、大阪府から事業 者に働きかけをされ たい。

I 提 案 の 履 行 状 況 に 関 する 項 目	(4) サービス向上を図るための具体的手法及び期待される効果	利用者の利便性の向上がなされたか。 ①多様な情報提供による安全・安心の確保（スマートフォンアプリの開発） ②星と自然のミュージアムの情報発信拠点機能の強化 ③利用者の荷物運搬・移動の負担軽減 ④ドローン映像による新たな魅力発信	【実績】 ①スマートフォンアプリを運用している。園地では5月から大阪府の工事で携帯電話の基地局が撤去され通信ができなくなり、ちはや園地内でのマップ機能等は使用できない状態にあるが、園地のイベント情報等の更新は行い、園地外からの予約申込機能は維持した。 ②定期的な展示内容の更新、サイネージ情報の更新等を継続的に実施した。また、SNS 等により積極的に情報を発信した。 登録者数 発信数 (4～11 月末) Instagram 976 名 770 回 Facebook 129 名 109 回 Youtube 200 名 118 回 ブログの更新 109 回（ほぼ隔日更新） ③キャンプ利用者の荷物運搬の負担を軽減するため、キャンプに必要な薪や炭の販売、食器類や寝袋等の貸出などのサービスを行っている。 ④大阪府が撮影した園地の植生調査のドローン映像をミュージアム内サイネージで発信した。 【自己評価】 ・スマホアプリ、SNS、HP など多様なツールで情報発信しており、概ね計画通り実施した。	A	履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。 ②引き続き、ちはや園地・金剛山の魅力を情報発信し、府内のみならず、他府県や海外からの誘客を図り、利用者の増加につなげることを期待する。	A	
	(5) 施設の維持管理の内容、的確性及び実現の可能性	施設の維持管理、景観保全について、良好な管理がなされたか。 ①適切な施設の維持管理（点検・補修） ・管理道、遊歩道、管理棟、キャンプ場、トイレ、駐車場等 ②ドローンを活用した植生管理（危険木の伐採、景観・眺望の確保、美化清掃）	【実績】 ① ・施設一斉点検の実施（9月30日実施） ・管理施設の修繕補修・維持管理 工事発注件数8件、直営修繕件数約20件 （内容）トイレ設備の修繕 給水設備の修繕 木柵等安全設備の修繕 管理道の維持管理 等 ②大阪府が撮影したドローン映像を園地内の植生管理に活用した。 【自己評価】 ・定期的な点検を行い、業者による修繕工事、職員による補修を実施した。また、日常点検の中で簡易な補修を行い、予防保全に努めた。概ね計画通り実施した。	A	履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。 ②みどり公社によるドローンの撮影と活用、眺望や景観保全に配慮した樹木伐採・剪定に努められたい。	A	
	(6) 自然体験活動の推進に関する具体的方策	自然体験活動について、具体的な企画が実施されたか。 ①ボランティアとの協働による自然体験活動の実施状況（魅力あるプログラムの展開） ・自然環境、星空観察に関するオンライン講座、出前講座の実施状況	【実績】 ① ・パークレンジャーとの協働による自然体験活動 森のピザづくり（4月14日 25名） 見てみよう園地の動物（7月28日 30名） クラフト体験（7月28日 55名） ナイトハイク&星空観察（10月5日 5名） ・オンライン講座 ペルセウス座流星群ライブ配信・解説（8月12日 視聴者数 853名） ・出前講座 千早赤阪村立赤阪小学校（7月10日 9名） 同 千早小吹小学校（7月11日 12名） 藤井寺市 四天王寺小学校（7月23日 44名） 堺市若松台中学校健全育成会（7月26日 100名） 泉佐野市立日根野第三小学校留守家庭児童会（8月5日 20名） 河内長野市立天見小学校（8月5日 20名） 大阪市立福島小学校いきいき活動室（8月6日 20名） 和泉市立芦部小学校（11月29日 40名） 合計 8回 265名 【自己評価】 ・出前講座は、教育委員会等への直接PR活動等の積極的な取組みの結果、昨年の実績（3校）を上回る8校の申込みがあり、園地職員が講師として出かけ開催した。 ・ボランティアとの協働活動、オンライン配信についても概ね計画通り実施した。	S	履行確認の結果、事業計画を上回る取組みが認められ、評価できる。 ①パークレンジャーと連携して、ちはや園地の特性を活かした各種プログラムを多数実施しており評価できる。 ①出前講座の実施回数は、昨年度を大きく上回り、ちはや園地内に留まらず、積極的に自然体験活動、園地のPRを実施しており評価できる。	S	出前講座を通じて家族層が来園するきっかけに繋がるような仕組み（例えばファンクラブ等）を検討されたい。

I 提 案 の 履 行 状 況 に 関 する 項 目	(7) 施設のにぎわいを創造する事項		収益事業（自主事業）が提案通り実施されたか。 ①自主事業の実施状況 ＜物品販売等＞ - 利用者への物品販売（オリジナルグッズ、アウトドアグッズ他）、レンタル用品の充実 - ログハウス休憩所等での飲食の提供 ＜イベント開催＞ - 園地と駐車場を連携させたイベントの実施（金剛山春・夏まつり） - 新規プログラムの提供（フェンソーカービング、森林ヨガ、トローン講習他）	【実績】 ＜物品販売等＞ - オリジナル木製コースター、キーホルダーの販売 - 焚火台のレンタル 「金剛山野草と木の花ハンドブック」の販売（11月末現在 224部販売） - カップ麺、レンジ食品販売、飲料自販機の設置 - 春まつり、夏まつりでの軽食喫茶販売（コーヒー、カレーライス、焼きそば、から揚げ、かき氷、おにぎり等） ＜イベント開催＞ (1) 金剛山春まつり（4月14日 参加者466名） (2) 金剛山夏まつり（7月28日 参加者200名） (3) 金剛登山道駐車場を利用し、日帰りで参加できるプログラムを開催（プログラムを大幅拡充） - 星空観察会（山麓スターウォッチング） （4月20日、5月3日、5月25日、8月10日、11月9日、11月30日 計157名） - 星空コンサート（7月27日、8月11日 計51名） - ダジックアースの世界（8月17日 38名） - 星撮りのススメ（9月7日 28名） - シースター電子観望講座（10月13日 15名） (4) 大阪府山岳連盟との協働による自然体験活動 初心者体験キャンプ（8月11、12日 5名） 安全登山講習会（8月11日 3名） （4）のイベントは、今年度の新たな取り組み。第二駐車場を利用して初心者向けの体験キャンプを実施した。山岳連盟の指導員により、安全で疲れにくい山の登り方・下り方、トレッキングポールの使い方等の安全登山の講習・実践を受けながら、金剛山頂までの登山を実施した。登山の途中、ちはや園地に立ち寄り、園地でのイベント「昆虫ウォッチング」に参加。下山後はテントの設営、キャンプでの夕食づくりなどの講習。夜は、ちはや園地主催の「星空コンサート」にも参加し、ちはや園地イベントとのコラボを行った。 ・イベント実施総合計 参加者 62回 3,611人（11月末現在） 【自己評価】 - 物品販売、イベント開催等は、新規プログラムを積極的に実施し、内容充実の計画を達成した。	S	履行確認の結果、事業計画を上回る取組みが認められ、評価できる。 ＜イベント開催＞ (3) 気軽に日帰りで参加できるように山麓の駐車場を利用して、山麓スターウォッチング等の趣向をこらしたプログラムを昨年度以上に実施しており評価できる。 (4) 駐車場を活用した新たな取組みとして、初心者体験キャンプを実施しており、今後はプログラムの充実、利用者増に努められたい。 引き続き、天体観測等のプログラムの拡充、駐車場と連携した新たな企画など、創意工夫あるイベントの実施に努められたい。	S	
	(8) 府施策との整合	①行政の福祉化、就職困難者の雇用・就労	行政の福祉化に関する取組がなされたか。 ①就職困難者の雇用・就労状況	【実績】 - 以前より、園地職員として障がい者が就労中。 - 新たに、支援団体、ハローワーク等を通じて障がい者を募集した。 【自己評価】 - 障がい者の新規募集については、関係機関と調整しながら取り組んだが、応募者が無い状況。引き続き関係団体を通じて募集する。		A	履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。	

I 提 案 の 履 行 状 況 に 関 する 項 目		②府事業、その他公益事業への協力	府・公益事業への協力がなされたか。 ①府事業への協力状況 ②公益事業への協力状況	【実績】 ① ・ちはや園地キャンプ場、金剛登山道駐車場の利用料金について、大阪府の施策に協力し障がい者の利用に対し、割引料金を適用した。 （キャンプ場利用料金の半額免除、駐車場利用料金の全額免除） ・大阪府土木事務所が実施する工事の資材等の置き場として第二駐車場を無償提供した。 ・大阪府が実施する「金剛山及びちはや園地周辺地域の集客力強化事業」（キャンプ場機能強化事業）に協力し、整備工事期間中のキャンプ場内のバンガロー、常設テントの使用を停止した。 ・大阪府が実施する香楠荘の撤去工事、千早赤阪村が実施するロープウェイ駅舎撤去工事に協力し、ミュージアム前の敷地の提供、第二駐車場を撤去廃材積替え場所として無償提供した。 ・おおさか生物多様性施設連絡会に参加した。 ② ・小中学校での出前講座（星空観察）を多数実施しており、教育振興の面でも貢献している。 ・ちはや園地施設利用の外国人数（8月～11月　185人） ・ホームページのトップページにブログページへの案内を英語で記載した。ブログでは折々の園地情報を英語で発信した。 ・地元のボランティアグループ「二剛会」や大阪府山岳連盟が実施する金剛山の清掃活動に協力し、参加者が回収したごみの処分やメンバーの駐車場所の提供等を行った。 【自己評価】 ・大阪府の事業、公共事業に協力した。 ・なお、本年度は大阪府等工事による資材置場として駐車場を使用したため、例年実施している消防、警察、自衛隊等の訓練時における駐車場の無償提供は実施しなかった。	A	履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。	A	
	(1)利用者満足度調査等		アンケート結果を把握し、運営に反映していたか。 ①利用者の満足度調査・アンケート等の回収後の対応策の分析、対応状況	【実績】 ・アンケート用紙を管理事務所・休憩所に配置した。併せて星空コンサート、出前講座等のイベント開催時にもアンケートを配布・回収した。 ・アンケートに寄せられた意見は職員全員で共有。 ・アンケート件数　149件（11月末現在） 【自己評価】 ・アンケートの回収・反映について概ね計画通り実施した。 ・アンケート結果は、おおむね満足した意見が寄せられている。 回答者数 49人中　非常に良かった 107人、良かった 38人、無回答 4人 ・対応可能な要望は園地管理に反映させるよう努めている。	A	履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。	A	
	(2)その他創意工夫		その他のサービス向上につながる創意工夫がなされたか。 ① I-(4)以外のサービス向上につながる取組み、創意工夫の実施状況 ②府民、ボランティア、NPO等の団体が事業企画などに参加・参画できる機会の確保 ③地域連携事業	【実績】 ①大阪府の香楠荘撤去工事に伴い携帯電話基地局が撤去され、園地内での携帯電話による通信手段が無くなったことから、緊急連絡用の公衆電話をキャンプ場管理事務所前に設置し緊急時の利用に供した。 ② ・富田林市すばるホールでの「すばる学園祭」に協賛。NPO 団体等と協力し、ちはや園地の広報活動を実施した（5月27日）。 ・ちはや園地の春、夏まつりにパークレンジャーが事業企画を持ち込み、参画実施した。 森のピザづくり（4月14日　25名） ちはや園地の動物を動画で紹介（7月28日　30名） クラフト体験（7月28日　55名） ・パークレンジャーからの企画提案事業 ナイトハイク&星空観察（10月5日　5名） ③千早赤阪村金剛山系対策協議会、千早赤阪村観光協会、金剛山頂施設連絡協議会に参加した。また、金剛山春まつり、夏まつりでは、観光協会会員による物産販売を行った。 【自己評価】 ・園地内での活動にとどまらず、地域のイベントへの参加、出前講座の活動や関係団体との連携を行っており、ちはや園地に関心を持ってもらう取組みについて積極的に実施した。	A	履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。	A	

Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目	(1) 収支計画の内容、的確性及び実現の程度	①当初見込んでいた収入は得られていたか。 ②事業計画や前年度実績等と当年度実績とを比較、分析した結果はどうか。 ③自主事業の事例を調査し、取組可能な事例について導入を試みていたか。 ④経費は当初見込んだ範囲内で収まっていたか。 ⑤当初提案時の支出計画書や事業計画等と実績とを比較、分析した結果はどうか。	【実績】 ①大阪府工事によるキャンプ場施設（バンガローや常設テント）の使用停止等の影響を受け、キャンプ場収入は対前年比 49.7%になっている。（11 月末現在） キャンプ場の一部使用停止は、宿泊を伴うイベント（星空観察会）の集客にも影響を与えている。 ②事業計画において当年度に計画した事業については、前年度と同様、概ね実施できている。 ③第二駐車場での日帰り星空観察会などのイベント拡充やミュージアムでの木製コースターの製作販売等新たな取組みを行った。 ④人件費、園地での修繕等に係る資材費、販売品の仕入費、園地管理用車両の燃料費等の価格の上昇があり、今後の収支計画の見直しが必要になってくると思われるが、概ね計画通りとなっている。 ⑤指定管理者公募・提案時に、府から提示の無かった事項が発生しており、当初見込んでいなかった利用者数及び収入の減少となっている。 ・キャンプ場施設の一部使用停止 ・香楠荘撤去工事に伴う工事車両の通行増等 【自己評価】 ・光熱費や消耗品費等の値上がりに伴う支出増があるが、概ね計画通りとなっている。 ・上記①⑤については、計画できないリスクであり、収支計画等の見直しが必要である。	A	履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。 ①⑤キャンプ場施設の休止を踏まえ、必要に応じて収支計画の見直しを行い、経費の削減に努めるとともに、引き続き施設管理や自主事業などに取り組まれない。	A	
	(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置は十分か。 ②職員採用、確保の方策は適切か（継続雇用等の観点）。 ③職員の指導育成、研修体制は十分か。	【実績】 ①・園地職員体制 5 名 ・繁忙時には登録職員（10 名）を配置 ②継続雇用希望者は継続雇用し、新規採用者は公募により採用した。 ③・チェンソー講習受講 1 名 ・食品衛生責任者講習受講 1 名 ・人権研修のビデオ受講 5 名 【自己評価】 ・計画通りの職員体制で運営を行っている。 ・職員は業務に必要な技能講習を受講している。	A	履行確認の結果、事業計画書に示した取組みが実施されており、評価できる。	A	
	(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	①運営基盤として、提案事業者の経営、事業、組織規模等は十分か ②運営基盤として、提案事業者の財務状況は妥当か	【実績】 ①②公社は、安定的な運営が可能な財政的基盤、財政状況を有している。 【自己評価】 ・府民の森の管理・運営は、公益目的計画の実施事業であり、公社の重要な業務と位置づけ、積極的に管理・運営に取り組んでいる。	A	計画どおり、安定した財政基盤があり、流動比率、負債比率等の指標から安全性が高く、指定管理業務の受託に問題はない。	A	

年度評価：A